

事業種類		主要な道路の整備		事業名	道路改築					
市町村名		茅野市	ふりがな 箇所名	(国)152号	ゆがわ 湯川バイパス	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	33年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	道路築造工 L=2,600m、W=6.5(11.0)m (うち橋梁2橋 L=75m)			1,700,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H26年度	測量調査設計 1式			50,000	30,000		18,000	2,000	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 10,000台/日以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台以上～10,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	10				
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある	<input type="checkbox"/>	10				
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以内にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジが20km以上にある	<input type="checkbox"/> 駅やインターチェンジに通じる路線でない	15				
			<input checked="" type="checkbox"/> 通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である	<input type="checkbox"/> 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	<input type="checkbox"/> 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない	20				
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路ではない	<input type="checkbox"/>	10				
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m未満又は60m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上6.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/> 6.5m以上(幅員)	15				
	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離を図る		<input checked="" type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	5					
	小計					85	0.3	26		
	重要性	関連計画との整合	<input checked="" type="checkbox"/> 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)	<input type="checkbox"/> 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	<input type="checkbox"/> 該当なし	40				
設計上の環境・景観配慮		<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をしていない	25					
地域の法的な位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけはない	35					
小計					100	0.15	15			
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C 1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C 1.0未満		20					
	事業効果の早期発現(事業年数)	<input type="checkbox"/> 事業年数 5年未満	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 5年～10年未満	<input type="checkbox"/> 事業年数 10年以上	20					
	コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	45					
	小計					85	0.15	13		
緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の危険がない	30					
	各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	<input type="checkbox"/> 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する	<input checked="" type="checkbox"/> 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	<input type="checkbox"/> 渋滞対策又は騒音・振動対策ではない	25					
		<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に関係ない道路	25					
	小計					80	0.2	16		
計画熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35					
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	25					
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映していない	20					
	小計					80	0.2	16		
費用対効果(B/C)		1.6			評価の合計			86		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、上田を起点とし諏訪、伊那、飯田地域を結ぶ地域間連絡道路であり、白樺湖、霧ヶ峰及び蓼科高原等通じる諏訪地域の重要な観光道路であるとともに、地元住民の生活を支える重要な道路である。当該区間は、ピーナスラインと複雑に交差し、休日を中心に混雑が激しく、併せて幅員狭小、渋川橋の重量規制など、広域幹線道路としての機能が発揮されず、地域住民の日常生活に支障を来しており、事業の早期着手が望まれている。								
	地域からの要望経緯	平成14年11月 茅野市観光連盟から諏訪建設事務所長へ要望。 平成15年 湯川区、北山、柏原区から諏訪建設事務所長へ要望があり、毎年各区より要望が出されている。 茅野市、湯川バイパス建設委員会から建設事務所長に(H24年2月)、建設部長(H25年4月)に要望。								
	事業説明等の経緯	平成13年4月 国道152号バイパス研究会発足(意見交換)。 平成13年8月、平成14年3月、平成14年4月と地域住民と意見交換を行いながら、ルート地元を周知。 平成23年11月 地元関係者(区長他代表者)にルート等の見直しに関する説明会を開催。 平成24年6月 地元説明会を開催し、バイパス起終点及び測量立入りについて了承を得ている。								
	環境・景観への配慮項目	法面は土羽構造により緑化を図る。既存の道路を極力利用し地形の改変を抑える。 環境配慮制度対象箇所								
	他事業・プロジェクトとの関連	長野県総合5ヵ年計画(事業着手) 茅野都市計画区域マスタープラン								
	特記事項	当該路線は中央道諏訪ICから白樺湖に通ずる観光路線であるが、観光シーズンには交通の増大により、観光・生活両面で交通に支障を来している。観光の多様化が謳われているなか、目的地の魅力だけでなく快適なアクセスや広域観光への寄与が重要な要因になっている。当地方の優れた観光資源を活用し、また安全な住民生活を確保するために整備が必要である。								
	地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明					
部意見	事業の必要性、重要性及び効率性が高いため、平成26年度から新規事業化したい。				行政改革課 意見	上田地方と諏訪地方を結ぶ重要路線。ピーナスラインとの交差点付近は混雑も著しく、橋梁も老朽化していることから、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。				
長野県公共事業評価監視委員会意見		県の自己評価は妥当と判断する。								